

新地方公会計制度による 平成27年度財務書類を作成しました

本市では、民間企業の考え方を取り入れた会計基準で皆さまに財政状況をお知らせするため、財務書類4表を作成しています。

なお、本紙においては財務4表のうち「貸借対照表（バランスシート）」のみ掲載し、それ以外の財務書類は市のホームページに掲載しましたので、そちらをご覧ください。

貸借対照表(バランスシート)とは

地方公共団体の決算は、その年度における収入・支出の状況を表しているのに対し、貸借対照表は今までに市が建設してきた学校や福祉施設、道路、公園などの資産【市民の財産】の状況と、そのために将来負担しなければならない借入金などの負債を把握することができます。

普通会計バランスシート

(平成28年3月31日現在)

借方 (資金の使われ方)	貸方 (資金調達のされ方)
1 公共資産 ① 有形固定資産 931億 5,735万円 庁舎、道路、公園、学校、保育園、 公民館、体育館などの土地、建物 ② 売却可能資産 1億 1,263万円 932億6,998万円[Ⓐ]	1 固定負債 1年以上先に支払うもの ① 地方債 219億 3,954万円 ② 長期未払金 2億 706万円 ③ 退職手当引当金 27億 6,723万円 249億1,383万円
2 投資等 ① 投資及び出資金 1億 8,149万円 ② 基金など 79億 7,538万円 ③ その他 3億 3,287万円 長期延滞債権など 84億8,974万円	2 流動負債 1年以内に支払うもの ① 翌年度償還予定地方債 21億 7,078万円 ② 未払金 9,383万円 ③ 賞与引当金 5億 4,299万円 28億 760万円
3 流動資産 ① 資金 現金や必要に応じてすぐ使える基金(預金) ・財政調整基金 18億 8,052万円 ・減債基金 34億 5,163万円 ・歳計現金 20億 4,657万円 ② 未収金 7,063万円 74億4,935万円	●負債合計 277億2,143万円[Ⓒ] (238億 672万円)
●資産合計 1,092億 907万円[Ⓑ] (1,044億1,727万円)	1 純資産 すでに負担して、支払いが済んでいる資産 ① 国県補助金など 149億 9,631万円 ② 一般財源など 664億 9,133万円 ●純資産合計 814億8,764万円[Ⓓ] (806億1,055万円)
	●負債・純資産合計 1,092億 907万円[Ⓑ] (1,044億1,727万円)

- ・資産合計 1,092億 907万円【市民1人当たり 182万円(174万円)】
- ・負債合計 277億2,143万円【市民1人当たり 46万円(40万円)】
- ・純資産合計 814億8,764万円【市民1人当たり 136万円(134万円)】()内は前年度の金額

※平成28年3月31日現在、住民基本台帳人口 59,870人

普通会計とは一般会計と仁良川地区土地区画整理事業特別会計の一部を合算したものです。

◇バランスシートから分かること◇

これまで下野市は、1,092億907万円[Ⓑ]の資産を形成してきました。そのうち、公共資産(学校・道路・公園など)の932億6,998万円[Ⓐ]が将来に引継ぐ資産になります。資産のうち、814億8,764万円[Ⓓ]は、これまでの世代の負担で、すでに支払いが済んでいます。残りの277億2,143万円[Ⓒ]を将来の世代が負担していくことになります。